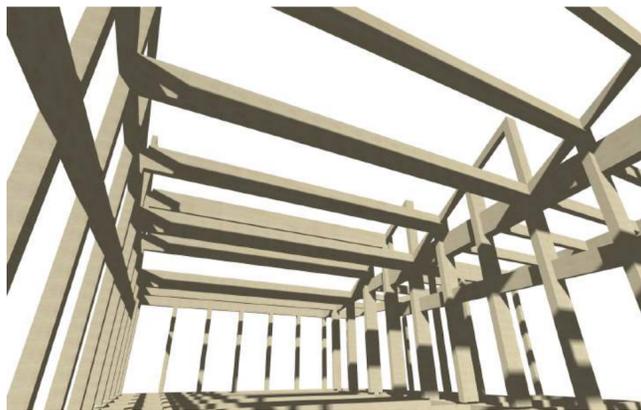


# 竹谷商事新社屋

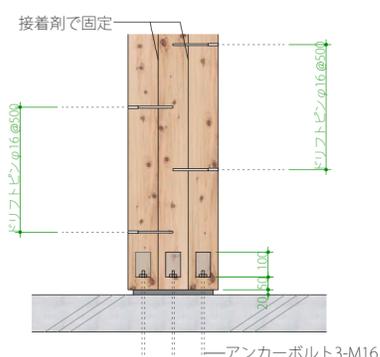
## (1) 木造軸組工法による無柱空間

門型のフレーム



当建物は2階建の4号建築物とすることで、構造の制約から自由になりました。事務室としても必要空間を確保する為に門型のフレームを採用し2階執務室を6mのスパンをとばす無柱空間とすることができました

## (2) 3本柱



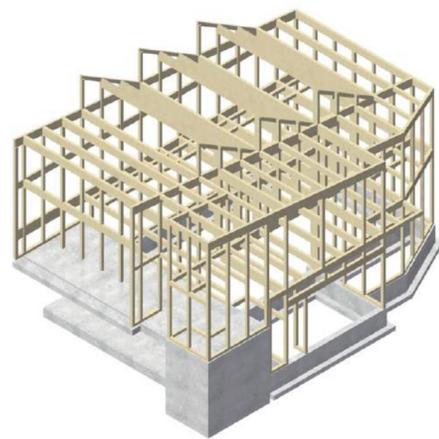
3本の柱を一体化させることでより強固な独立柱を構成します

施工写真

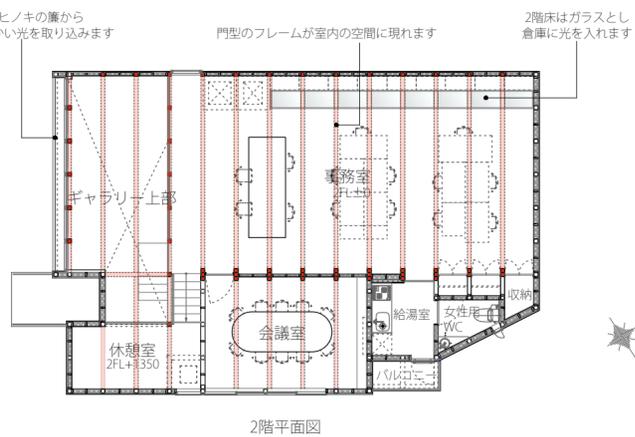


敷地は住宅地に位置し、道路を挟んで旧社屋と倉庫に面しています。施主は林業用資材を取り扱う商社で、旧社屋が手狭となり新しく社屋を建設する事になりました。事業に関連した建築を目指し、木造で自然光に溢れる快適な社屋を提案しました。建物は1階倉庫、2階執務室という構成で、機能優先の外観構成としながら、道路に面したファサードには檜の簾を配して、建築と街を柔らかく繋いでいます。1,2階とも無柱の大きい空間を、6mスパンの門型フレームを1.0m間隔で連続させて構成し、そのフレームを全て木地表としています。執務室の奥に自然光が届くよう、ノコギリ屋根を連続させ、トップサイドライトから光を取り入れています。

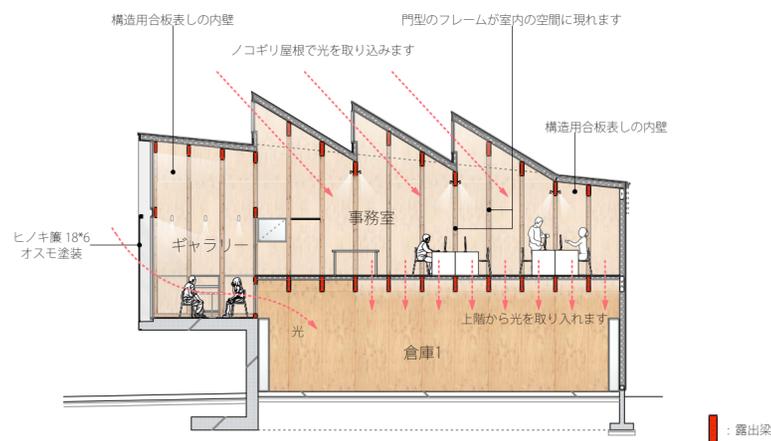
門型フレームの連続による建築の構成



必要な機能を元に建築の形が自然と導かれます



2階平面図



断面図

露出梁

